

シリーズ記念碑探訪 24

# 土地改良記念碑

団体営区画整理事業

田沢湖町神代土地改良区

由 来

本地域は、旧神代村東部の低収穫地帯で、刺市川を幹線用排水路としているが、その系統が煩雑でしかも統制が確立されず、用排水の合理化が強く望まれていた。

昭和26年積寒法の制定で旧神代村は全村区画整理事業が企画され、昭和28年頃より調査測量を行い、このうち約60ヘクタールを区域とする土地改良区を設立するため、大石清四郎外25名で神代第一土地改良区の設立申請をし、昭和31年10月29日設立となった。

同年に梅沢地区60ヘクタール、翌年60.6ヘクタールを事業費2,366万円で施行した。

これ等の事業に刺激され岡崎の一部と神代の一部の区画整理の気運が高まり、同地区を編入し知事の認可を受けて神代土地改良区と改称した。

岡崎地区として昭和32～33年度で166.8ヘクタール、事業費2,515万1千円で実施した。両地区合せ約288ヘクタールの既耕地と、付近に点在する未墾地、原野を含め国の施策に添う区画整理事業に着手した。



▲記念碑「土地改良記念碑」

そして、工事のすべてを人力と畜力に頼る外なく、現在では到底想像もつかない苦労の連続であったが、関係機関の指導と組合員の一致協力によって昭和34年3月31日に竣工した。

低収穫地を解消し、時代の経過の中で逐次機械力も導入され、農作業の能率向上、収穫においても過去の実績を大きく上廻る美田となった。

(田沢湖町神代土地改良区)

碑文

土地改良記念碑

秋田県知事 小畑勇二郎書

— 参考文献 —

・ 碑文は語る



▲右は梅沢・岡崎地区排水事業の記念碑(平成2年建立)